

市長と語ろうまちづくり

今年度からスタートした「市長と語ろうまちづくり」。古河市が抱える課題について、市民の皆さんと市長が率直に意見交換を行い、市民参加のまちづくりを進めていきます。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111



少子高齢化の進展やインフラ・公共施設の老朽化などの課題に対応するため、3つの戦略的な施策を推進していきます。

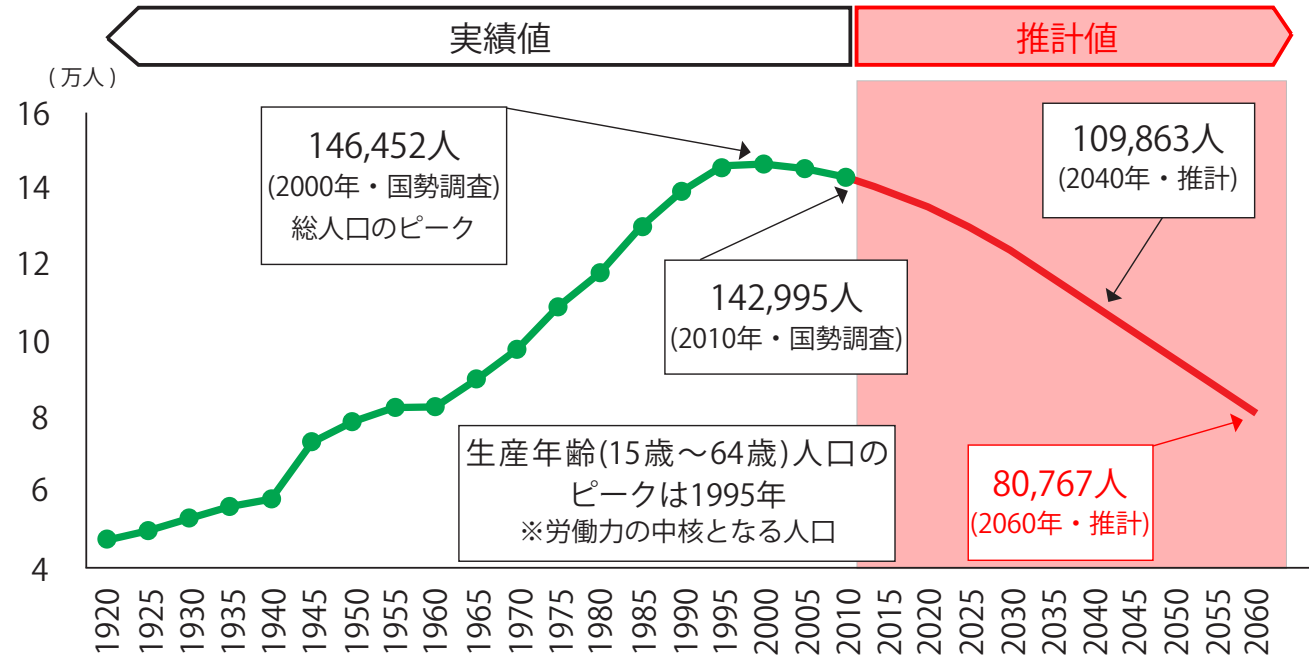
【古河市が抱える課題】

- ・人口減少社会が進む中で、都市や地域経済の活力をどのように維持していくのか。
- ・公共施設の更新時期が近づいている中でのマネジメントをどうするのか。

【人口減少時代に突入】

古河市の人口は、2000(平成12)年の146,452人をピークに減少傾向に転じています。

このまま有効な対策を打たないと、2040(平成52)年には109,863人、2060(平成72)年には80,767人まで減少すると言われています。[国立社会保障・人口問題研究所の推計]



【人口減少の影響は？】

- ①市税の減少
- ②行政サービス水準の維持困難
- ③住民負担の増加
- ④地域経済の活力低下
- ⑤地域コミュニティ機能の低下
- ⑥伝統文化の継承困難



人口減少に対応するための「戦略的な取組(施策)」が不可欠

【3つの戦略的な取組(施策)】

- (1)安定した雇用の創出

「元気を生み出す産業の振興」を通じて働く場や雇用を創出・拡大

 - 関連企業等の誘致と雇用の創出
 - 市街地の活性化
 - 古河ブランドの発掘とプロモーション強化
 - 体験・参加型ツーリズムの推進
- (2)若い世代の定住促進

「子育て支援と豊かな教育の実現」を通じて若い世代の移住や定住を促進

 - 切れ目ない子育て支援
 - 小児科・産婦人科医療体制の充実
 - 子育ての経済的支援
 - 特色ある学校教育(英語教育等)
 - 個に応じた教育推進
 - 「古河っ子」の育成
- (3)都市の安心安全

「災害に強いまちづくり」を通じてまちの安心安全を向上

 - 防災啓発(タイムライン等の周知)
 - 水防計画の策定
 - 自主防災組織の育成
 - 密集市街地(駅西地区)への消防施設の設置
 - 生活道路等の整備(消火活動の円滑化)

さらに、都市のエンターテインメント性の向上を含め、古河市の魅力そのものをグレードアップさせていく取り組みを推進していきます。

参加者との意見交換(抜粋)

- Q.1 人口減少・少子高齢化は確実に進行していくと思う。そのつもりで行政運営をお願いしたい。

A.1 皆さんに人口減少・少子高齢化のイメージを持っていただくことが今回の趣旨でもあります。今は技術革新もあり、人口減少しても充実したサービスを得られる可能性が高い。悲観するばかりではなく、視点を変えるが必要だと思っています。
- Q.2 水防計画について教えてもらいたい。

A.2 防災において一番大切なのは、正確な情報のもと、いかに早く、どれだけ多くの住民を避難させられるかだと思っています。そのため防災計画とタイムライン*を作成しました。

*タイムラインとは、災害発生時に「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、時系列に整理した計画をいいます。